

令和2年度 学校自己、及び、学校関係者評価表 武蔵村山市立第三中学校

経営理念	学力向上と生徒にとって安全・安心な学校を目指す
------	-------------------------

【学校運営協議会・会長】中藤祥誉	様式4
学校運営協議会(学校評価分)	
第1回 4月26日(木) 第2回 7月19日(木) 第3回 12月10日(木)	

経営理念	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)	学校関係者評価	
				12月 目標値		最終評価				意見	評価点 (4点満点)
				達成値	達成値	達成度	評価				
確かな学力の向上	授業力向上を図る。	自己申告書等をもとに、指導法の工夫・改善を行う。外部講師を招聘した研究授業の実施	授業が分かりやすいと思う生徒の割合	90	94	A	・ギガスクールの実施に向けて、研修を通してICT機器を活用した授業を実践していかねばならない。 ・新学習指導要領の完全実施に向け、全教員が外部講師を招いての研究授業をする等、授業力向上に努める取組を継続して行う必要がある。	・「主体的、対話的で深い学び」を研究課題として、研修と授業改善を行い、成果を検証する。 ・「三中スタンダード」を基にICTを活用した授業、「補習授業」「東京未来塾」を活用して基礎・基本の定着と思考力を高める。 ・生徒による授業アンケートの成果と課題の分析、小学校との授業実践交流を基に授業改善を行う。	・教員がICT機器を活用した授業、研究授業を通して分かりやすい授業に努めている。 ・授業が分かりやすいと多く回答しており、生徒と学校の信頼関係が構築されている。 ・学習が遅れがちな生徒の対応が必要だと思う。	4	
	指導方法の改善・工夫を行う。	「生徒の自己評価活動」をもとに、検証を行う。	「学力の向上を実感する」ようになったと思う生徒の割合	80	98	A	・全教員によるICTを活用した研究授業の成果が出ている。 ・学習に躓きのある生徒の支援である定期考査前、長期休業中などの補習教室の継続、指導内容の工夫が課題である。	・ICTを活用した授業計画に基づく分かりやすい授業、生徒が主体的に取り組む授業を実践する。 ・放課後補習教室、長期休業中の補習教室、東京未来塾を活用して基礎的・基本的内容の定着を図る。 ・家庭学習等に関して、「学習の手引」の活用や面談による指導を充実させる。	・授業時間数の確保、授業方法の改善、学習教室等で生徒の学びをサポートしている。 ・生徒同士の学び合いの取組はとも良い。その成果が達成率に現れている。 ・1年生から進路についての取組があれば良いのではない。	3.8	
	家庭学習の定着を図る。	「学習の手引き」をもとに、学習の仕方を学ばせ、各担任により、取組の進行管理を行う。「家庭学習状況調査」を実施し、検証を行う。	家庭学習を1時間以上行った生徒の割合	80	73	B	・家庭における生活習慣の見直し、学習習慣の定着化が必要である。 ・家庭でも保護者が家庭学習に対する協力体制をとる必要がある。 ・学力向上に必要な家庭学習の習慣化に向けて、「学習の手引」の活用や、保護者会や学年だよりなどを通して、家庭の協力を促していくことが課題である。	・年5回の家庭学習チェックカードの充実と徹底を図る。 ・家庭学習について、入学説明会、学習保護者会で説明を行い、家庭の協力を求める。 ・三校区の第三小学校、雷塚小学校2校と小中連携した家庭学習の習慣化を今後も継続して行う。 ・家庭学習リーフレットの基づいたガイダンスの徹底を図る。	・昨年と比較して、家庭学習の定着が進んでいると感じられる。 ・先生がいくら指導しても家庭の協力がなくて難しい。 ・1年生のうちから家庭学習の大切さ、具体的に何をするのかを教えてほしい。	3.4	
豊かな心の育成	いじめ撲滅への取組	「いじめアンケート」「いじめ撲滅キャンペーン」等を活用して、思いやりの心を育成する。	安心して学校生活が送れているかの割合	90	88	A	・定期的ないじめのアンケート、担任を中心とする見守り等の取組の効果が表れている。 ・いじめに関して教員の意識を常に高め、相談しやすい雰囲気をつくる必要がある。 ・不安や悩みを抱えている生徒の把握、迅速かつ適切な対応を行う意識の向上と体制の維持が必要である。	・いじめアンケートを定期的実施する。いじめのサインを見逃さず教員間で情報を共有し組織的に迅速・的確に対応する。 ・教員の人権意識向上と「いじめの対応」、「体罰防止」の研修会を実施し、教員の意識向上を図る。 ・ベテラン教員と若手教員で、生徒理解、生徒指導についての話し合いやミニ研修を充実させる。	・道徳指導、生徒指導等を通して、いじめ撲滅等の人権教育が組織的に行われている。 ・昨年と比較して、安心して過ごせる学校の割合が高い。保護者も学校に信頼を寄せていることが分かる。さらなる取組を期待する。	4	
	特別な支援を要する児童・生徒への対応	教育相談の充実	生徒の悩みや相談に教師が親身に対応してくれていると感じる保護者の割合	80	79	B	・スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーを含めた教育相談委員会を週1回実施し、共通理解を図っている。 ・必要に応じて各関係機関との連携を図りケース会議を実施し、情報交換と対応策を立てる。 ・スクールカウンセラーと生徒の全員面談を実施し、生徒理解に努める。 ・個別の支援対策としての別室指導を丁寧に行っている。	・教育相談委員会の内容の充実を図る。 ・各関係機関との連携の推進を図る。 ・三者面談や必要に応じて家庭訪問を継続的に実施する。	・各教職員が随時生徒に声を掛けており、相談しやすい雰囲気をつくっている。 ・生徒や保護者が気軽に教育相談に行ける工夫が必要。教員相談の啓蒙活動をする必要がある。新入生に関しては小学校との連携も必要。	3.4	
	全校あいさつ運動の実施	あいさつをよくする生徒の育成	挨拶は大切だ、挨拶ができたという生徒の割合	90	103	A	・校内、校外での挨拶の習慣化が課題である。 ・部活動中にもかかわらず、門の開閉をしてくれたり挨拶してくれるのは心地よい印象である。 ・地域の方々との面接練習では、三中生の姿に自分の進路をしっかりと考えている様子が分かり良い印象をもちました。	・部活動での挨拶の定着化、生徒会活動としての「あいさつ運動」を更に充実していく。 ・校長面接、地域の方々による面接練習を通して礼儀の指導をしていく。 ・朝礼、各学年集会での指導をもとに、職場体験等であいさつ、マナーの実践指導を徹底する。	・全学年で挨拶に関する生徒の自己評価が高い。 ・校内では生徒がよく挨拶してくれるので感心しています。挨拶は大切です。これからも指導を続けてください。 ・以前のような積極的で元気のいい挨拶は減少しているように感じる。	3.8	
健やかな体の育成	日常的な体力づくりの推進	ミニオリンピック大会の実施	ミニオリンピックに意欲的に取り組んだ生徒の割合	90				・三中の伝統である「ミニ・オリンピック」を東京オリンピック・パラリンピックと関連させて更に内容の充実を図っていく。 ・体力向上のための朝マラソンは、内容、時期の改善を含めて継続していく。 ・市駅伝大会、東京駅伝大会、ロードレース大会に積極的に参加する。			
	食育の推進	食育の全体計画に基づく食育指導の実施	食に対する関心が高まったと思う生徒の割合	90	99	A	・「弁当の日」の自分で弁当づくりを行う体験を通して、食や健康に関する意識を高め、保護者に対する感謝の気持ちをもたせることができている。今後も継続して取り組んでいく。 ・食育講演を通して、健康や食生活に対する意識を高めさせることができている。	・日常生活の「食」に対する意識を高めるため、食育の講演会の充実を図る。 ・「弁当の日」を継続実施し、「食」に関する意識や、人々への感謝の念をもたせるように指導していく。 ・給食指導において、マナーの徹底と食材に対する関心を高めしていく。 ・「食育」の年間指導計画の工夫・改善を図る。 ・お弁当の日の活用を図っていく。	・「食だより」はとても良くできているので、食に対する関心を高めるのに効果的である。 ・全校挙げての弁当作り、食の大切さは生徒に伝わっていると思います。これからも続けてほしい。	4	
開かれた学校	オリンピック・パラリンピック教育の推進	参加国や、環境についての学習の実施	オリンピック・パラリンピックに関心をもったという生徒の割合	90				・東京オリンピック・パラリンピックに向けて、三中が応援する国を調べる活動を行う。 ・オリンピック・パラリンピック教育を授業、特別活動等を通して充実させていく。			
	学校の公開 保護者・地域との連携	学校公開週間の実施 地域人材の活用(いれあいフェスティバル・地域の方々のお話を聞く会)	学校の様子がよく分かるという保護者・地域の割合	90	93	A	・学校公開、学校公開週間は設定しているが、保護者の参観が少ない。 ・3学年の地域の方々との面談を通して、地域と生徒たちとの交流を継続している。 ・地域の方のお話を聞く会を設定するなど地域の連携に力を入れている。	・学校公開日の日程や内容の工夫・改善を通して参観者を増やす。 ・学校だより、ホームページ、ツイッターの内容を充実させる。 ・コミュニティ・スクール、グリーンサポーターなどの活動の充実を図り、成果について保護者・地域に取組の様子を発信していく。	・コロナ禍の中、感染対策を徹底しながら、学校行事を通して積極的に地域との連携を行った。 ・保護者の「安心して過ごしている」という評価は、学校への信頼が厚いと示している。 ・3年生の「地域の方々との面接」では、地域の方々も中学生との面接を楽しみにしており、学校と地域が良好な関係を築いていると感じた。また、先生方の指導の良さが分かりました。	4	

平均値 3.8

【達成度】 = [達成値] / [目標値]
 【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定 B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施 C：5割未満→目標の見直し